令和５年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	
③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	学校以外で学習を行う習慣がない児童生徒が増えており、学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	市内のボランティア活動団体、市内在住の大学生、教員免許保有者等の確保を努めているが、人材確保が困難なことから、オンライン委託を行うことにより、人材の確保と授業科目を増やすことができる。	学校以外で日常的に学習を行う生徒が増える。	普段、学校の授業以外に全く勉強をしない生徒の割合（令和5年度　全国学力・学習状況調査結果）	14	%	10	17	2	・学習支援のボランティアについては、国語及び英語学習の支援員を確保することができなかったが、英語学習おいては、オンライン講師による遠隔授業に切り替え実施することができた。 ・学習支援事業の参加生徒を増やすため、学習支援の内容等について検討を要する。